



Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes 2.6

Web コンソール

コンソールコンポーネントの使用方法

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes 2.6 Web コンソール

コンソールコンポーネントの使用方法

法律上の通知

Copyright © 2023 Red Hat, Inc.

The text of and illustrations in this document are licensed by Red Hat under a Creative Commons Attribution–Share Alike 3.0 Unported license ("CC-BY-SA"). An explanation of CC-BY-SA is available at

<http://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/>

. In accordance with CC-BY-SA, if you distribute this document or an adaptation of it, you must provide the URL for the original version.

Red Hat, as the licensor of this document, waives the right to enforce, and agrees not to assert, Section 4d of CC-BY-SA to the fullest extent permitted by applicable law.

Red Hat, Red Hat Enterprise Linux, the Shadowman logo, the Red Hat logo, JBoss, OpenShift, Fedora, the Infinity logo, and RHCE are trademarks of Red Hat, Inc., registered in the United States and other countries.

Linux[®] is the registered trademark of Linus Torvalds in the United States and other countries.

Java[®] is a registered trademark of Oracle and/or its affiliates.

XFS[®] is a trademark of Silicon Graphics International Corp. or its subsidiaries in the United States and/or other countries.

MySQL[®] is a registered trademark of MySQL AB in the United States, the European Union and other countries.

Node.js[®] is an official trademark of Joyent. Red Hat is not formally related to or endorsed by the official Joyent Node.js open source or commercial project.

The OpenStack[®] Word Mark and OpenStack logo are either registered trademarks/service marks or trademarks/service marks of the OpenStack Foundation, in the United States and other countries and are used with the OpenStack Foundation's permission. We are not affiliated with, endorsed or sponsored by the OpenStack Foundation, or the OpenStack community.

All other trademarks are the property of their respective owners.

概要

コンソールコンポーネントの使用方法をご覧ください。

目次

第1章 WEB コンソール	3
1.1. コンソールへのアクセス	3
1.2. コンソールの概要	4

第1章 WEB コンソール

以下のドキュメントで、Red Hat Advanced Cluster Management コンソールの Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールにアクセスする方法と、コンソールのコンポーネントを使用する方法を説明します。

- [コンソールへのアクセス](#)
- [コンソールの概要](#)

1.1. コンソールへのアクセス

Red Hat OpenShift Container Platform の Web コンソールから Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes のコンソールにアクセスできます。コンソールには、インストール後にターミナルからもアクセスできます。以下で、コンソールへのアクセス方法をすべて確認してください。

1.1.1. OpenShift Container Platform Web コンソールからのアクセス

- **OpenShift Container Platform 4.10 テクノロジープレビュー:** 実行時にロードされるクラスターにダイナミックプラグインを作成してデプロイするには、[OpenShift Container Platform Web コンソールへのダイナミックプラグインの追加](#) に関する OpenShift Container Platform のドキュメントを参照してください。
- OpenShift Container Platform 4.8 以降では、ナビゲーションメニューの近くにあるパースペクティブスイッチャーから Red Hat Advanced Cluster Management を起動できます。**注記:** 以前のバージョンの OpenShift Container Platform についてのみ、ヘッダーの **Application launcher** をクリックして、**Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes** オプションを選択できます。
- **非推奨:** 左側のナビゲーションからコンソールにアクセスすることは非推奨です。
 - **Networking > Routes** をクリックし、続いて **Location** 列から URL をクリックします。
 - **Project** メニューから、Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes がインストールされている namespace を選択します。デフォルトの名前空間は **open-cluster-management** です。
 - **Location** 列から **multicloud-console** の URL をクリックします。

1.1.2. Red Hat OpenShift CLI からのアクセス: (非推奨)

1. Red Hat OpenShift Container Platform にログインし、Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes をインストールしたら、以下のコマンドを実行してルートを検索します。ここでは、**<namespace-from-install>** を、当製品をインストールした namespace に置き換えます。

```
oc get routes -n <namespace-from-install>
```

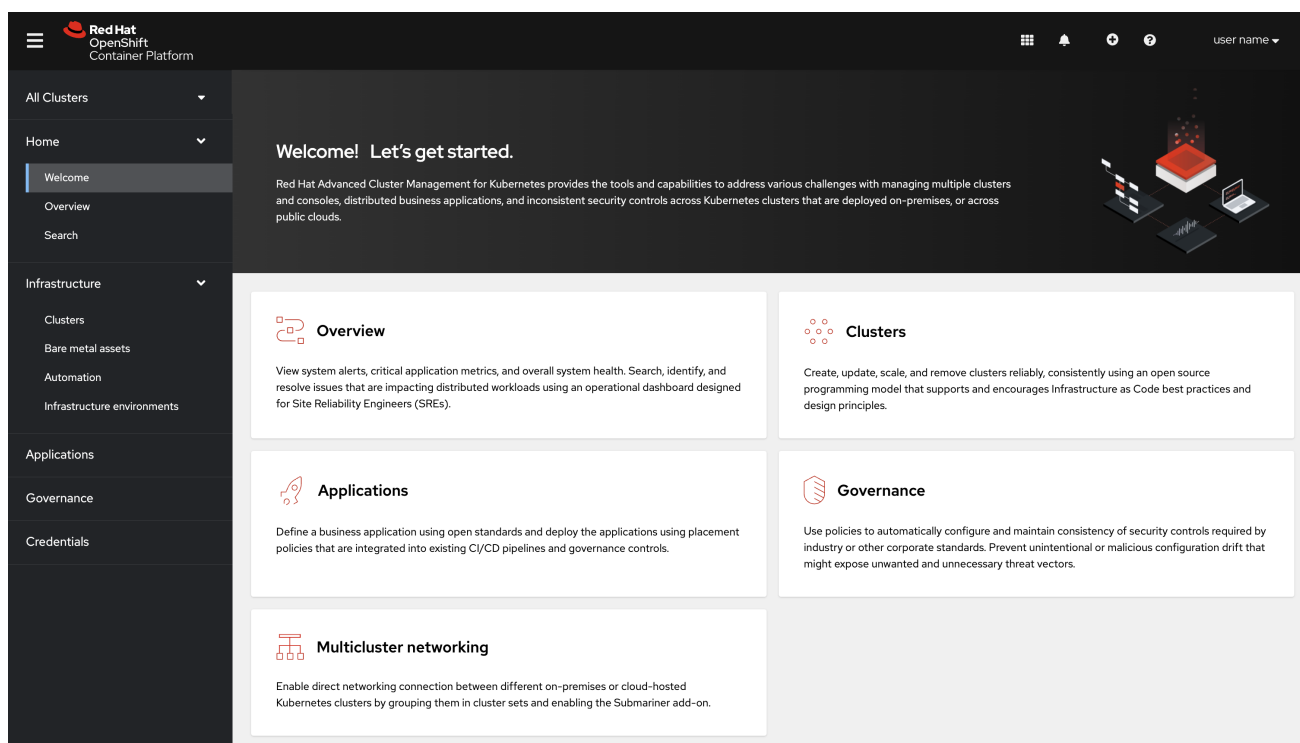
1. **open-cluster-management** 名と **Host/Port** コラムを確認し、URL を取得します。

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールの詳細は、[Web コンソール](#) を参照してください。

1.2. コンソールの概要

コンソールの表示、管理、またはカスタマイズに使用可能なコンソールのコンポーネントについて説明します。

以下で Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes コンソールの **ナビゲーション** のイメージを参照してください。このコンソールについては、後続の各セクションで詳細を説明します。ナビゲーションに、主要な実稼働機能があることが分かります。



1.2.1. コンソールのコンポーネント

- [OpenShift Container Platform コンソールプラグイン](#)
- [ホーム](#)
- [インフラストラクチャー](#)
- [アプリケーション](#)
- [ガバナンス](#)
- [認証情報](#)

1.2.2. OpenShift Container Platform コンソールプラグイン

OpenShift Container Platform 4.10 および Red Hat Advanced Cluster Management 2.5 では、Red Hat Advanced Cluster Management Web コンソールを OpenShift Container Platform コンソールに統合できます。この機能を使用するには、コンソールプラグインを有効にして、**All Clusters** ビューからアクセスできるようにする必要があります。

新規インストールの場合、コンソールプラグインはデフォルトで有効になっています。以前のバージョンの Red Hat Advanced Cluster Management からアップグレードして、プラグインを有効にしたい場合、またはプラグインを無効にしたい場合は、以下の手順を参照してください。

1. プラグインを無効にするには、OpenShift Container Platform コンソールの **Administrator** パースペクティブにいることを確認してください。
2. ナビゲーションで **Administration** を探し、**Cluster Settings** をクリックし、続いて **Configuration** タブをクリックします。
3. **Configuration resources** のリストから、**operator.openshift.io** API グループが含まれる **Console** リソースをクリックします。この API グループには、Web コンソールのクラスター全体の設定が含まれています。
4. **Console plug-ins** タブをクリックします。**acm** プラグインと **mce** プラグインの両方がリストされています。
5. テーブルからプラグインのステータスを変更します。しばらくすると、コンソールを更新するように求められます。

プラグインが有効になっている OpenShift Container Platform 4.10 の場合、ドロップダウンメニューから **All Clusters** を選択することにより、クラスタースイッチャーから OpenShift Container Platform コンソール内の Red Hat Advanced Cluster Management にアクセスできます。OpenShift Container Platform バージョン 4.8 から 4.10 でプラグインが有効になっていない場合、Red Hat Advanced Cluster Management はパースペクティブスイッチャーで使用できます。

Networking > **Routes** をクリックして、スタンドアロンまたは個別の Red Hat Advanced Cluster Management Web コンソールにアクセスすることもできます。

1.2.3. ホーム

Red Hat Advanced Cluster Management for Kubernetes の **Home** ページから、製品の詳細情報を取得して、ヘッダー機能や製品の主要なコンポーネントのページにアクセスできます。

- **Welcome** ページおよび **Overview** にアクセスすると、クラスターを可視化できます。以下のようなクラスター情報を **概要** ダッシュボードで表示できます。
 - マネージドクラスターからのメトリクスデータ (Grafana リンクを選択)
 - すべてのクラスターおよび各プロバイダーのクラスターとノードの数
 - クラスターの状態
 - クラスターのコンプライアンス
 - Pod のステータス
- **Grafana** を選択して Grafana ダッシュボードにアクセスします。
- **Clusters** ページで **Add provider connections** タブを選択します。

Home タブからも **Search** を利用できます。Search については、[Search in the console](#) を参照してください。

1.2.4. インフラストラクチャー

クラスター から新規クラスターを作成したり、既存のクラスターをインポートしたりできます。**Automation** から Ansible テンプレートを作成できます。

クラスターの管理の詳細については、[マルチクラスターエンジン Operator クラスターのライフサイクルの概要](#) を参照してください。

さらに、[マネージドクラスターで実行する Ansible Tower タスクの設定](#) で、これらのクラスタータイプに関する特定の情報を参照してください。

1.2.5. アプリケーション

アプリケーションを作成し、**.yaml** ファイルを編集します。各アプリケーションの概要またはより詳細な情報にアクセスします。アプリケーションリソースの詳細は、[アプリケーションの管理](#) を参照してください。

1.2.6. ガバナンス

.yaml ファイルを作成および編集して、ポリシーを作成します。**Governance** ダッシュボードを使用して、ポリシーとポリシーコントローラーを管理します。

詳細は、[ガバナンス](#) を参照してください。

1.2.7. 認証情報

認証情報では、クラウドプロバイダーのアクセス情報を保存します。1つのプロバイダーのドメインごとに独自の認証情報が必要になるのと同様に、プロバイダーアカウントごとに独自の認証情報が必要です。

クレデンシャルを確認するか、クレデンシャルを追加します。

プロバイダーおよびクレデンシャルの詳細は、[クレデンシャルの管理の概要](#) を参照してください。